

グスタフス・スコール

GUSTAF'S SKOAL

(スウェーデン)

別名をグスタフス・ヘルスともグスタフス・トーストともいい、「グスタフ王万歳」とか「グスタフ王乾杯」という意味だと思われる。

スウェーデンの中興の英主とあおがれたアドルフ・グスタフ (Adolf Gustav) 2世は、武勇のほまれ高く、これをたたえて農民たちがこの名前をつけたと言われている。踊りの前半は王宮でのダンスを意味し、テンポもゆったりとして動作も荘重であるが、後半はこの国の農民の踊りを表現しており、テンポも早く、動作も粗野である。

◆音楽 2/4 拍子。前奏 8 呼間。1 回の踊り 64 呼間。全曲で 4 回踊れる。

◆隊形 カドリール・フォーメーション (正方形)。4 カップルが 1 セットとなり、男子はパートナーの女子を右にして全員セットの中心を向く。正面に背を向けた組を 1 組とし、順次右へ 2 組、3 組、4 組とする。各カップルはパートナーと内側の手 (男子右、女子左) を肩の高さにつなぎ、外側の手は 4 指を前にして腰にとる。

◆ステップ ウォーキング・ステップ (ウォーク)、スキップ・ステップ。

◆踊り方

I. 挨拶

1. 1 組・3 組は外側の足 (男子左、女子右) から 3 歩前進し [1~3]、男子は 4 歩の右足に体重をかけずに左足にそろえ軽く頭を下げ挨拶、女子は 4 歩目の左足に体重をかけずにやや後ろへ引き右膝を軽く曲げて右手でスカートを持って挨拶 [4]。男女とも内側の足から 3 歩後退して元の位置へ戻り [5~7]、4 歩目の足をそろえる [8]。(後退する時、女子は右手を再び腰に当てる) ……8 呼間
2. 1 を 2 組・4 組が同様に行う [1~8]。 ……8 呼間
3. 1 と 2 をもう一度くりかえす [1~16]。 ……16 呼間

II. アーチくぐり、拍手と両手まわり

1. 2 組・4 組は、その場でパートナーと向き合い両手をつないでアーチをつくる。1 組・3 組はスキップ 2 回で前進し [1~2, ア]、互いに出合った向いの組の異性と両手をつなぎ、近い方のアーチ (1 組男子・3 組女子は 4 組のアーチ、1 組女子・3 組男子は 2 組のアーチ) をスキップ 6 回でくぐり左右に別れて元の位置へ戻る [3~8, ア]。 ……8 呼間
2. 全員 1 呼間目に拍手を行い [1]、各組ともパートナーと両手をつなぎ CW にスキップ 7 つで 1 回転する [2~8, ア]。 ……8 呼間
3. 今度は 1 組・3 組がアーチをつくり、2 組・4 組が 1 と同様に行う [1~8, ア]。 ……8 呼間
4. 2 を行う [1~8, ア]。 ……8 呼間

以上をくりかえす。

◆留意点

- 1) カドリールを正式に踊る場合は、組の番号の付け方が違うし、踊る順序も変わるので注意すること。
- 2) この踊りを2組・4組から踊り始めることもある。
- 3) アーチをつくる時に、セットの中央を向いたまま内側の手たけでつくる踊り方や、拍手のあとジャンプ・ホップ・ターンで踊る踊り方、その他種々の踊り方がある。